

ソウルの山は、晴れわたっていた (『むくげ通信』283号、2017.7.30)

一むくげ九里フィールドワーク番外編

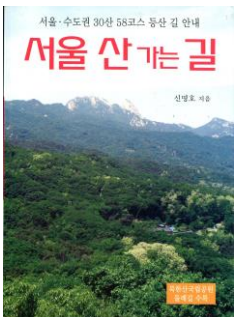
飛田雄一

九里フィールドワーク (FW)、宮内秋緒さんのガイド／手配のおかげでとても充実したものでした。宮内さん、ありがとうございました。

今回は、ソウル東大門東横イン 6/2 (金) 午後 6 時集合+宴会、翌 6/3 (土) 午前 9 時同ホテル集合+出発と、比較的ハードルの低い現地集合でした。前回の「群山***モーテル集合」よりは簡単でした。来年はよりハードに、忠清南道・洪城***モーテル集合なんぞはどうかと考えているきょうこの頃です。さて、洪城にはなにがあるのでしょうか……。



往路 5/31、関空から済州航空でソウルに向かいました。関空のカウンターには、「預け荷物 15 キロ、持ちこみ 10 キロ」とあります。客のなかにはトランクをあけて 15 キロを超える荷物を出している人も。私は 10 キロほどの荷物だから楽勝だとタカをくくっていました。が、私のチケットは荷物を預けられないチケットだということです。往復 16,470 円の安いチケットがわざわざいした。4000 円払って荷物を預けた。登山ストックなどを持参したので機内持ち込みは無理だったのです。



まずは、登山地図を買うべく東大門の新しくできた本屋に向かいました。コースタイムも入った一枚物の日本ではよくある登山地図を探しましたがありません。近くの大きなスポーツ店にしてみました(韓国では登山用品店がめっちゃ多い)ありません。しかたなく単行本の『ソウル・山に行く道—ソウル・首都圏 30 山 58 コース登山道案内』を買いました。これでもいいがやはり一枚物の登山地図が欲しくて永豊文庫まで行ってゲットしました。これが最高! A3 版両面で北漢山、道峰山等 13 の地図

が入っていて、紙には防水加工もしています。その一部が以下のものです。(北漢山)



さて、九里 FW の前後に私はソウルの山を 3 つ、登りました。6/1 北漢山、6/2 道峰山、6/4 南漢山城です。いずれも天候にも恵まれた最高のハイキングでした。山の高さはいずれも六甲山より低いのですが、なかなかのハードなハイキングでありました。

ここで問題! 北漢山城、南漢山城が、独自の山城だといくことをご存じですか?

私は、ソウルの城壁の一部だと思っていたのです。しかし実際はそうではなくて、北漢山城 8 キロ、南漢山城 11.7 キロの独自の山城がつけられていたのです。

北漢山、それは私が一度は登らなくてはならない山だったのです。今でも私が NHK の最高のドキュメンタリーだと考えている「朝鮮人 BC 級戦犯問題—『チョウムンサン (趙文相) の遺書』(1991.8.15) に北漢山ができます。

アジア・太平洋戦争の時期に連合軍捕虜への虐待行為が戦争犯罪として立件されていますが、捕虜監視員となった朝鮮人も 129 名が有罪判決をうけうち 14 名がシンガポール、チャンギー刑務所等で死刑に処せられています。

そこで処刑されたうちのひとりがチョウ・ムンサン (趙文相) で、日本名・平原守矩。1947 年 2 月、チャンギー刑務所で絞首刑となったのです。享年 26 歳。日本人上官の命令を捕虜に伝える通訳だったため捕虜の憎悪を人一倍集めたとされています。獄中で彼は、処刑の数分前まで心の揺れを長文の遺書に綴っていますが、その中に「北漢山頂・白雲台に刻んだ私の名前は今も残っているのだろうか……」という部分があるのです。映像では現在の北漢山の岩山が映し出され、そこに落書きされたハングルもでてきます。その岩山がほんとに印象的なのです。

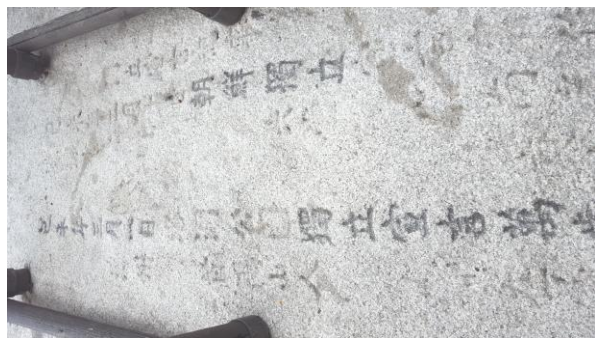
彼の裁判記録がオーストラリア公文書館にのこさ

れていたこと、死の直前まで書いていた「遺書」を友人たちが書き写して持ちだしていたことがドキュメンタリーで紹介されています。

裁判で捕虜虐待を否定する趙文相にたいして、彼がクリスチャンであることを問題として、最後には日本軍の教えと聖書の教えのどちらが優先するののかという質問をしているのです。日本軍のなかで聖書の教えを優先させることはできなかった、日本軍で日常茶飯事だった「びんた」をしたことが暴力であるといわれるのなら暴力をふるった、というやり取りから有罪／死刑となったのです。（※DVD500 円、送料ともで配布可。）



地下鉄 3 号線でクバパル下車、②出口からでてバス 34 または 704 でヒョージュ洞下車。登山のスタートだ。北漢山最高峰・白雲台 863M まで、結構登る。後半はきつい登りが続く。本当に岩山だ。山頂に 1919 年に掘られた独立記念碑にもびっくりしたが、ネコがいたのにもびっくりした。



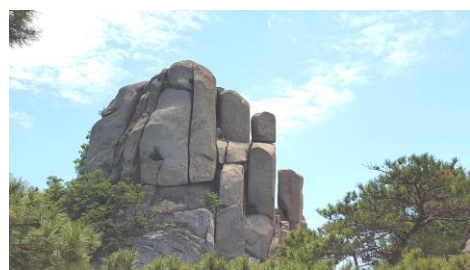
二つ目は道峰山。北漢山の東側にあつて、北漢山国立公園の一部となっています。地下鉄 1 号線道峰山駅 ①出口から歩き始めます。駅近くにはスポーツ店がならび韓国ハイキングの定番・キュウリも売っています。私も買いました。ここも急坂が続きます。740M ですが、けっこう大変な山です。頂上の岩の上でご飯を食

べました。見晴らしは素敵ですが、こわいのです。となりで、平気でマッコリを飲んでいる人もいましたが・・・。

山を下り東大門の東横インにもどり、ひと風呂浴びてから最初の公式行事（前夜祭）に参加しました。



道峰山での昼食、200Mほどの崖になっている



道峰山にはスヌーピーが、いました

3つ目の山が南漢山城。以前、車で来たことがありますが、登山は始めて。平日にもかかわらず地下鉄の駅（駅名失念）にはたくさんの登山客がいます。その一団についていたら、その集団がいつの間にか目の前から消えて迷ってしまった。でもそのうち登山口にたどりつき山城に登りました。平日なのに登山客が多いのです。山城には弁当屋、酒店も多く、マッコリ宴会をしているグループもありました。この日も快晴で、ソウルの街がよく見えました。映像を Facebook（飛田雄一で検索）にアップしておいたのでぜひご覧あれ。



快晴の南漢山城よりソウルの街をながめる



付録に有益情報ひとつ。台湾語と日本の地図をゲットすると便利だ。私たちは地下鉄の駅の漢字名が知りたいが、これがあるとほぼ分かるのである。（北京語より台湾語の方が分かりやすい）